

# 7がっのくもの子の会だより

〈H.26.6.26〉

今年、梅雨は、ひんやりしていいね。  
 おしおしする暑さがそこまできなく、おしやすく感じている私  
 ですが、みなさん、どうですか～

さて、夏本番がやってくる7月です。  
 年々、暑さも厳しくなるばかりなので、今年は、どこまで気温  
 があがるか～とこわい気もしますが、暑さに負けず、夏ならではの  
 あそびを、子ども達と満喫したいものです。

「自分をコントロールする力」を育てよう  
 〈どうしてガマンが必要なの？〉

人との関わりや集団生活の中では、いつも自分の思いが通るとは  
 限りません。特に、集団の中では社会のルールと自分の思いが相反  
 することもあり、わがままを通すと集団から逸脱したら、人との関わりが  
 円滑にはいかならないことがあります。

子どもにガマンをさせるのは、忍びない、できるだけ子どもの気持ちを尊重  
 したいと思う保護者の方も多いと思います。子どもの気持ちを尊重する  
 ことは大切ですが、一方で、状況によりガマンをして自己抑制すること  
 身につけることも人間関係を円滑にし、集団生活に適応するためには  
 必要です。

◎7月は、午後から大イベント「うめん流し大会」をします。マリン、マイおんを  
 もってきてください。イベント会費として、徴収させていただきます。



〈ガマンを見れば、親子がわかる〉  
 (子どもがのびのびと成長していくためには、ガマンの「質と量」  
 を見直ししめ。

〈ガマンが不足気味な親子〉

| 親  | 子   |
|--|---|
| ～時には厳しくも<br>“子どものため”です～<br>子どもと言いつつ争いをしたく<br>ない、子どもの機嫌が悪<br>くなるようなこと避けたい<br>などの理由から、子どもの言い<br>なりになっている場合があります。<br>親としての威厳に欠け、<br>子どもとのコミュニケーションが<br>十分でないことも多く見受けら<br>れます。 | ～いつでも自分中心では<br>社会性が育ちません～<br>何となく言うことをきいておける<br>子どもは、わがままになり、自分<br>の気持ちをコントロールすることが<br>できません。自己抑制が<br>身についていないために、<br>友達関係に問題が生<br>じたり、時には親に暴力<br>をふるうようなケースも<br>見られます。 |

〈ガマンさせすぎ親子〉

| 親   | 子   |
|---|---|
| ～“圧迫”は愛情を<br>届きにくくします～<br>しつけのためや強い子になってほしい<br>などの理由から、ガマンさせすぎる<br>場合があります。また、親が子ども<br>の気持ちよりも自分の生活リズム<br>や価値観を優先させているため、<br>子どもにガマンを強いている<br>場合も見受けられます。 | ～“自分の考え”が言えない<br>大人になれぬかも～<br>ガマンばかりしている子どもは、<br>自発性(自分の人生を切り<br>開いていく力)が欠けやす<br>くなります。そして、自己主張が<br>できなくなると、何かを言<br>いたいと思っても大人の顔色を<br>うかがい、自信がもてず消極的<br>になりやすくなります。 |